

会場で餅つきを体験する参加者



地元産の食べ物一堂に

道の駅みやま公園まつり

「食」と「体験」をの焼き芋、市が特産化わった。シイタケやキテーマにした「第3回を進める雑穀の一種・クラゲの詰め放題を築道の駅みやま公園まつり 黒米の甘酒など地元しめるブームも人気だりたまの雑穀フェス 産食材を使った飲食 った。

「市などでつくる物を販売する出店が 玉野商工高開発のオ実行委員会主催」が23 並んだ。雑穀栽培農家 リジナルメニューのアイ、田井の道の駅みやま でつくる市雑穀生産組 ナゴ焼きそばと雑穀おま公園で開かれた。 合のコーナーでは、雑 にぎりを販売した同高会場にはご当地グル 穀を使った餅つきをの3年安部巧真さんメのたまの温玉めしや 披露し、買い物客が つ (18)は「想像以上にお番田地区特産の紫イモ きたてをぜんざいで味 客さんが多くて忙しか

ったが、笑顔で食べてくれたのでうれしかった」と喜んだ。

ステージではバルーンアートや東児地区のご当地ヒーロー・東児ライダー8のショーがあり、ヒーローが登場すると子どもたちからひととき大きな歓声が上がった。

家族3人で訪れた前田万希子さん(49)は「岡山市南区藤田」は「大人も子どもも楽しめるイベントがたたくさあり来て良かった。甘酒がおいしかった」と話した。

(内田貴大)

秋彩る催し満喫

多くの人が3連休となった23～25日、市内でさまざまなイベントが開かれた。各会場とも大勢の市民が訪れ、ステージや飲食、体験コーナーなどを楽しみながら晩秋のひとときを過ごした。

お菓子をもちろえる輪投げに挑戦する子どもたち



三井生協ふれあい祭り ゲームやミニ演奏会

三井生協の「第12回生協ふれあい祭り」が25日、4・8のステージもあつた。子どもからお年寄りまで多くの人が、ゲームやミニコンサートを楽しんだ。

レクレセンター会場の無料のゲームコーナーでは、子どもたちがお菓子を賞品としてもらえる輪投げやピンボールに挑戦し、結果に「喜ぶ」一瞬ながら盛り上がった。玉野高の吹奏楽部による演奏や市の若手

男性職員ユニット「TMN」のステージもあつた。輪投げに挑んだ宇野小3年藤田直大君(9)は「ゲームでお菓子をもらえたり音楽演奏を聞けたり、毎年、わくわくする催しがあるのを楽しみに来ている」と笑顔を見せた。

売り上げを福祉の充実のために市に寄付するチャリティバザー、カレーやうどんを提供する「うまいもん広場」(本部店会場)もあり、終日にぎわった。

(民直弘)

生活習慣病を予防し、介護を必要としない体づくりをテーマにした「元気が1番!まつり」(市などでつくる実行委主催)が25日、奥玉のすこやかセンターで開かれた。骨粗しょう症の検診や肺年齢を測定するコーナーがあり、多くの市民が自らの健康状態をチェックした。

肺の生活習慣病とされる「慢性閉塞性肺疾患」(COPD)対策として実施した肺年齢の測定では、保健師が専用機器を使って吐き出す空気の量を調べ、COPDの疑いがある人には禁煙や医療機関の受診を勧め

元気が1番!まつり



専用機器を使って肺年齢を測定する参加者

した肺年齢測定で、市民130人中22人にCOPD

生活習慣病予防へ測定

Dが疑われる肺機能の低下があることが判明。石塚緑さん(80)は「玉」は「肺年齢が実年齢より3歳若い77歳と分かってうれしかった。

いろいろなコーナーに足を運んで知識を深め、家族に心配をかけない健康な体にしていきたい」と話していた。

骨を構成する組織の密度が低下して骨折しやすくなる骨粗しょう症の検診、市歯科医師会による虫歯予防のフッ素を歯に塗るブラス、市医師会の健康なんでも相談などもあった。

(民直弘)